



# <やまがた緑環境税を活用する事業の展開について【平成28年度】実績>

資料1-1

## やまがた緑環境税活用事業845,940千円（うちやまがた緑環境税664,089千円）

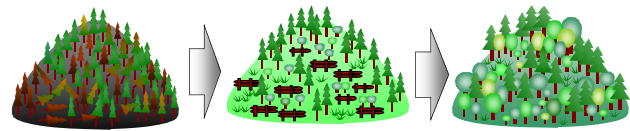
### I 環境保全を重視した施策の展開 689,971千円(うちやまがた緑環境税508,121千円)

#### ① 環境保全を重視した森林整備の推進 (656,770千円 うち緑環境税474,919千円)

##### ◆ 荒廃森林緊急整備事業 1,617ha (林業振興課：653,432千円 うち緑環境税471,581千円)

□ 水源かん養など公益的機能の高い森林を育成(針広混交林整備) 事業量17ha 4,906千円(うち緑環境税3,210千円)  
スギ人工林に広葉樹を導入するための強度の間伐及びこれに必要な森林作業道の設置など

やまがた緑環境税による整備  
森林整備 5ha 1,290千円(うち 税1,290千円)



～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林へ～

国庫補助事業を活用した整備(環境林整備事業)  
森林整備 13ha 3,616千円(うち 税1,920千円)



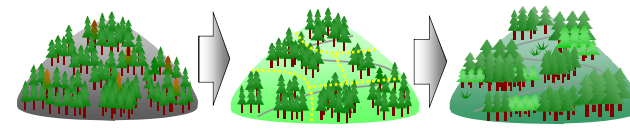
将来のすがた

#### □ スギ人工林の再生を起点とした

##### 環境に配慮した森林経営の展開(長期育成林整備) 事業量889ha 416,254千円(うち緑環境税236,100千円)

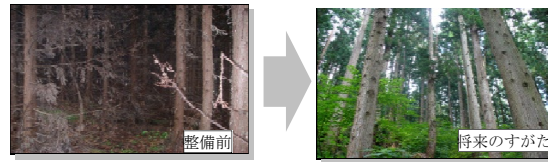
間伐及びこれに必要な森林作業道の設置など、森林組合等が森林所有者に代わって施業を一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築

やまがた緑環境税による整備  
森林整備等 507ha 142,132千円(うち 税142,132千円)



～多様な樹齢からなる森林が面的に整備され、公益的機能が持続的に発揮される森林へ～

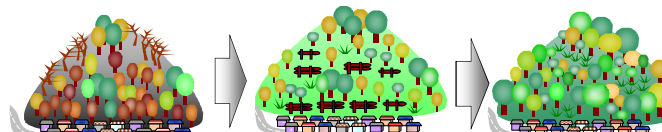
国庫補助事業を活用した整備(森林環境保全直接支援事業)  
森林整備等 383ha 274,122千円(うち 税93,968千円)



将来のすがた

#### □ 病虫害等で活力が低下した里山林の再生(里山林整備) 事業量710ha 232,272千円(うち緑環境税232,272千円)

病虫害被害木の伐採、広葉樹の植栽、簡易土留柵の設置など



～多様な樹種や年齢で構成する緑豊かな明るい里山林へ～

森林景観整備  
人と動物との共存林整備  
(市町村補助  
補助率10/10)



将来のすがた

#### ◆ 森林資源再生事業 27ha (林業振興課：3,338千円)

##### 環境に配慮した森林経営の展開(再造林)

再造林とその後の保育施業を、森林組合等が森林所有者に代わって一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築



将来のすがた

### II 21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築 (130,614千円)

#### ① 県民参加の森づくりの推進 (118,621千円)

##### 【県民みんなで支える森・みどり環境公募事業】(みどり自然課：28,636千円)

NPOや地域のボランティア団体等による森づくり活動の支援

##### 一般助成

- 1 森林・自然環境学習
- 2 自然環境の保全活動
- 3 豊かな森づくり活動
- 4 森林資源の利活用

##### テーマ助成

- 1 森づくりと一体となった木質バイオマスの利活用
- 2 里山資源の活用と交流
- 3 暮らしの中に木を使う



##### 【みどり環境交付金事業】(みどり自然課：88,921千円)

市町村が地域の課題に応じ、主体的に取り組む森づくり活動等の支援

- 1 森林・自然環境学習(学校林等を活用した環境学習の推進)
- 2 自然環境の保全活動(水環境の保全、希少野生生息地の保全)
- 3 豊かな森づくり活動(地域住民や企業との協働による森づくり)
- 4 森林資源の利活用(県産材の普及啓発、間伐材やバイオマスの利活用)

※ 基本配分枠50,000千円・特別配分枠40,000千円

##### 【やまがた絆の森プロジェクト推進事業】(みどり自然課：1,064千円)

企業の森づくり活動への支援、整備森林によるCO2の吸収量の認証等



#### ② 自然環境保全対策の推進 (8,743千円)

##### 【生物多様性戦略推進事業(一部)】

(みどり自然課：3,743千円)

自然環境の変化等についての総合的なモニタリング調査

##### 【鳥獣保護管理法推進事業(一部)】

(みどり自然課：3,466千円)

里山など森林に生息する大型野生動物の実態調査

##### 【野生鳥獣捕獲体制強化支援事業(一部)】

(みどり自然課：216千円)

人と野生鳥獣の共生の担い手育成

##### 【大型野生鳥獣等野生復帰事業(一部)】

(みどり自然課：1,318千円)

傷病等で救護された野生鳥獣の復帰支援

#### ③ 自然環境学習や森に親しむ

##### 環境づくりの推進 (3,250千円)

##### 【自然環境学習推進事業】

(みどり自然課：1,511千円)

森林環境学習に関する副教材等の作成

##### 【総合支庁自然環境学習推進事業】(1,739千円)

- ◇ 村山総合支庁
  - ・ 里山の森づくりサポーター育成事業(森林整備課)
- ◇ 最上総合支庁
  - ・ 最上の自然環境教育マスター養成事業(森林整備課)
- ◇ 置賜総合支庁
  - ・ みんな一緒に森林活動フィールド振興事業(福祉課)
  - ・ おきたま森林・自然環境学習推進事業(森林整備課)
- ◇ 庄内総合支庁
  - ・ 羽羽庄内公益の森づくり事業(森林整備課)

#### ② 環境保全に配慮した資源循環利用の促進(33,202千円)

##### ◆ 森林資源循環利用促進事業 43,620m<sup>3</sup>(林業振興課：30,242千円)

間伐材等を、ラミナ(集成材)、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料として利用するための搬出等に対し支援を行う。



##### ◆ 広葉樹林健全化促進事業

(里山林の若返りと資源の積極活用) 3,318m<sup>3</sup>(林業振興課：2,960千円)

ナラ枯れ被害木を伐採してナラ林の若返りと害虫の駆除を行うとともに、チップ等への活用を進めるため、搬出及び作業道の設置に支援を行う。

・ 伐採搬出支援：3,318m<sup>3</sup> 2,910千円 ・ 面的防除支援：1箇所 50千円



### III 新たな森づくりの推進 (25,354千円)

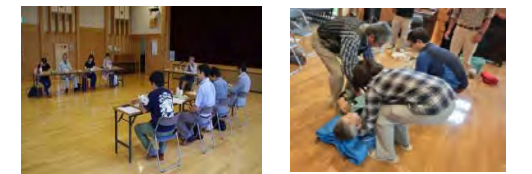
#### ① 推進体制の整備 (14,270千円)

##### 【やまがた緑県民会議】(みどり自然課：1,459千円)

緑県民会議の開催、緑環境税制度の評価検証

##### 【森づくりサポート体制推進事業】(みどり自然課：12,811千円)

県民参加の森づくり活動の総合的な支援、指導者等人材の育成



#### ② 普及啓発の強化(11,084千円)

##### 【みどりの循環県民活動推進事業】

(みどり自然課：10,373千円)

- ・ 県民が気軽に森づくりに参加できる仕組みの構築(森のホームステイ、間伐体験、木工教室の開催等)
- ・ 森の感謝祭の開催
- ・ やまがた緑環境税の普及啓発 等



##### 【水資源保全推進事業(一部)】

(環境企画課：355千円)

水資源と森林の保全に関する啓発

##### 【やまがた緑環境税広報事業】

(税政課：356千円)

やまがた緑環境税の周知、広報

#### 5年間の森林整備面積目標

5年間(H24~28)で適切に整備された森林が6,500ha増加  
(※内訳：特に保全上重要な人工林3,500ha、特に荒廃が顕著な里山林3,000ha)

みんなが安心して暮らせる緑豊かな「やまがた」

#### 5年後の森づくり参加人数目標

5年間(H24~28)で、約2万人増加  
(H19)6万人→(H23)8万人→(H28)10万人